小城市立小中一貫校芦刈観瀾校

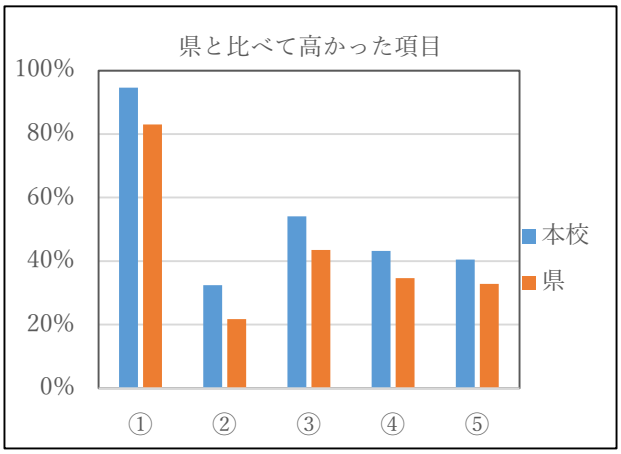
令和８年４月実施

６・９年 全国学力・学習状況調査結果及び分析、今後の取組について

◆６年　質問調査（生活や学習に関する調査）から

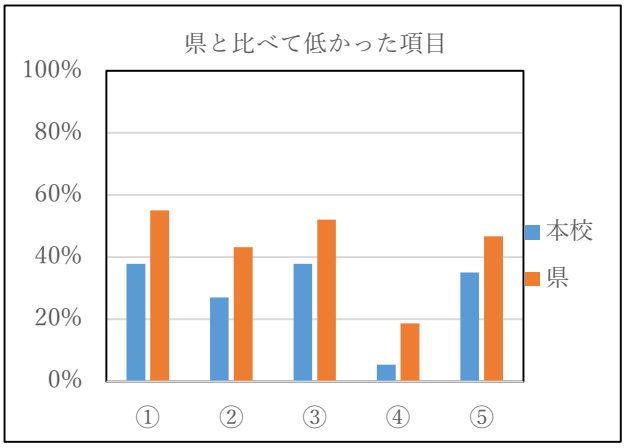
【県の割合と比べて数値が高かった項目】

	調査の項目
①	いじめは、どんな理由があってもいけないことだ
②	自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している
③	PC・タブレット等の ICT 機器を使ってプレゼンテーションを作成できる
④	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり生かしたりできる
⑤	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



【県の割合と比べて数値が低かった項目】

	調査の項目
①	図や数直線が問題を解くときに役に立つと思う
②	学校の勉強について家族とよく話す
③	普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある
④	将来、積極的に英語を使う生活や職業に就きたい
⑤	学校に行くのは楽しい



改善に向けた取組

①【図や数直線が問題を解くときに役に立つと思う児童が少ない】
実際に図や数直線を描画させ、「図や数直線を使うと解きやすくなる」という成功体験を授業内で積み重ねさせる。

②【学校の勉強について家族とよく話す児童が少ない】
学校で学んだことを保護者に伝える課題を設定し、自然と話題にのぼるきっかけを作る。

③【普段の生活の中で幸せな気持ちを感じている児童が少ない】
保護者と連携し、児童を積極的にほめる機会を増やす。

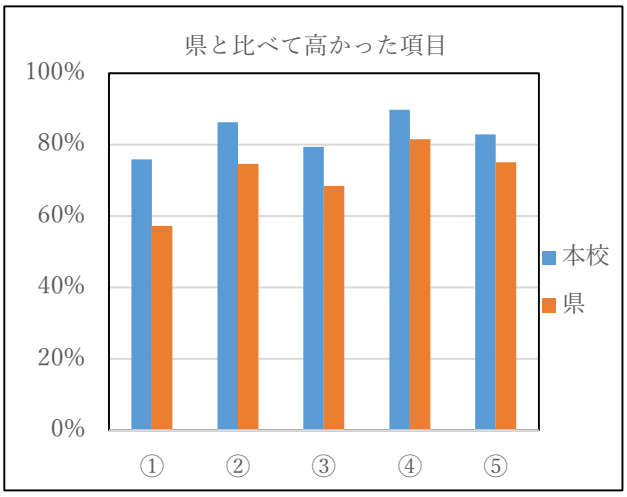
④【将来、積極的に英語を使う生活や職業に就きたい】
授業内で英語を使う場面を増やすとともに、英語が将来どのような職業や社会場面で役立つか提示する。

⑤【学校に行くのは楽しいと感じている児童が少ない】
教師が意識的に肯定的な関わりをもつようにする。

◆９年　質問調査（生活や学習に関する調査）から

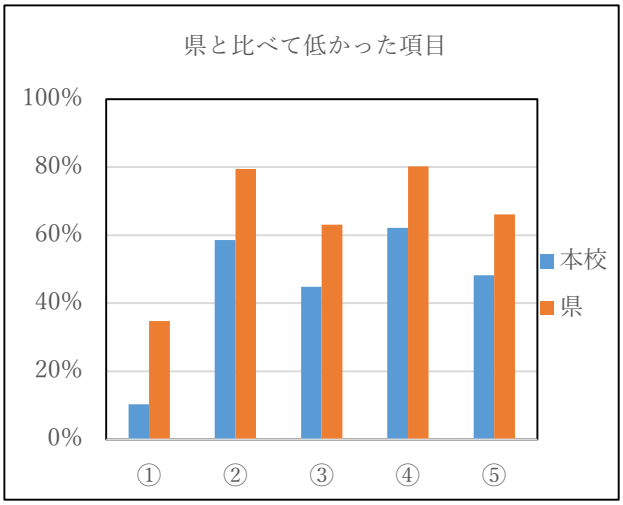
【県の割合と比べて数値が高かった項目】

	調査の項目
①	国語の勉強が好き
②	１、２年生のときに受けた国語の授業で、先生は良いところや成長を伝えてくれた
③	自分の学級で、人と違う意見を言っても否定されない
④	PC・タブレットで文章を作成することができる
⑤	国語の授業の内容がよく分かる



【県の割合と比べて数値が低かった項目】

	調査の項目
①	英語の勉強が得意だ
②	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う
③	PC・タブレットで情報を整理する（図表・思考ツール等）ことができると思う
④	１、２年生の授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間等になっていた
⑤	１、２年生の授業で、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで理解できた



改善に向けた取組

①　【英語の勉強が得意だ】
　ペアワークやグループワークを積極的に取り入れ、楽しみながら学ぶ活動を多く設定する。

②【自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒が少ない】
　授業で、異なる考えを比較・検証して、新たな気付きや結論を導き出す思考場面を設定する。

③【PC・タブレットで情報を整理する（図表・思考ツール等）ことができると思う生徒が少ない】
　情報から必要なデータを選び出し、思考ツール・図表を使ってまとめる指導を行う。

④【１、２年生の授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間等になっていたと思う生徒が少ない】
　前学年の復習を行い、「よく分からなかった点」を見直させてつまずきをフォローする。

⑤【１、２年生の授業で、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで理解できたと考える生徒が少ない】
　数学で登場する言葉や定義、定理の意味を系統立てて丁寧に教え、定着を図る。

◆６年　国語科

全体の概要

・６年国語科の正答率は、県平均と**ほぼ同じ**であった。

・県と比べて、数値が高かった内容は「読むこと」であった。
・県と比べて、数値が特に低かった内容は「書くこと」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】記述 【観　点】思考・判断・表現 【内　容】書くこと	≪つまずき要因≫ ・集めた資料から必要な情報を適切に抜き出し、自分の考えが明確に伝わるように文章を再構成・記述する力が不十分であった。	○目的や意図に応じて根拠となる情報を整理・引用し、筋道の通った文章を構成して書く言語活動を重点的に取り入れる。

◆６年　算数科

全体の概要

・６年算数科の正答率は、県平均を**ほぼ同じ**であった。

・県と比べて、数値が高かった領域は「変化と関係」であった。
・県と比べて、数値が低かった領域は「測定」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】短答・記述 【観　点】思考・判断・表現 【領　域】データの活用	≪つまずき要因≫ ・表から条件に合う複雑な数量を正確に読み取ることに着目して試行錯誤し、解決の過程を数や言葉で表現することが不十分であった。	○複数の表やグラフから目的の条件に合う数値を読み取る問題の理由を説明・記述する言語活動を充実させる。

◆９年　国語科

全体の概要

・９年国語科の正答率は、県平均と**ほぼ同じ**であった。

・県と比べて、数値が特に高かった内容は「書くこと」であった。
・県と比べて、数値がやや低かった内容は「読むこと」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】選択 【観　点】思考・判断・表現 【内　容】読むこと	≪つまずき要因≫ ・語句による表現上の効果を精密に読み取る力が不足。	○条件に合わせて的確に要約・読解する時間をもつ。

◆９年　数学科

全体の概要

・９年数学科の正答率は、県平均を**大きく下回った**。

・県と比べて、数値が特に高かった領域は「数と式」であった。
・県と比べて、数値が低かった領域は「データの活用」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】選択 【観　点】知識・技能 【領　域】数と式	≪つまずき要因≫ ・証明の構成に沿って論理的に書く力が大きく不足。	○図形の性質や証明の標準的な構成を繰り返し練習させる。

◆９年　英語科

全体の概要

・９年英語の正答率は、県平均を**大きく下回った**。

・県と比べて、数値が特に高かった領域は「読むこと」であった。
・県と比べて、数値が低かった領域は「書くこと」であった。

特に課題が見られた設問		改善に向けた手立て
【解答形式】記述 【観　点】思考・判断・表現 【領　域】書くこと	≪つまずき要因≫ ・自分の考えを英文で構成し、まとまった文章として表現する力が大きく不足。	○提示された条件に合わせて 2~3 文程度のまとまりのある英文を書く練習を継続的に取り入れる。